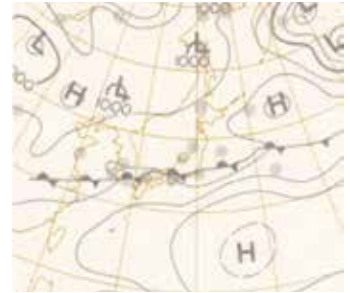
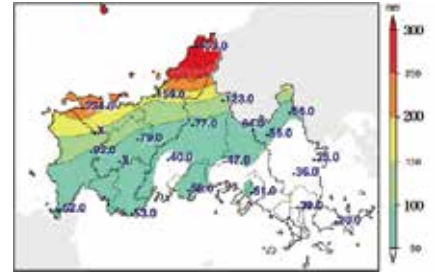




阿武郡須佐町山地崩壊状況



天気図(7月23日03時)



総降水量分布図



阿武郡須佐町沖浦地内



阿武郡田万川町



阿武郡田万川町家屋床上浸水

気象の概要	<ul style="list-style-type: none"> 7月20日から21日にかけて、低気圧が日本海を進んだことから梅雨前線の活動が活発となり日本海側で大雨になった。22日から23日にかけて前線上を低気圧が東に進み、日本の南の海上から暖かく湿った空気が流れ込んだことから、山口県北部は局所的な豪雨となった。 梅雨末期の集中豪雨により、総降水量は田万川で560.5mm、日降水量は須佐で23日に206mm、1時間降水量は田万川で23日に83mmの記録的な豪雨となり、須佐町、田万川町では多数の床上浸水、床下浸水や山崩れによる家屋の倒壊が発生した。 					
	総降水量(mm)	403.0(須佐)	日降水量(mm)	99.0(萩)	1時間降水量(mm)	27.0(萩)
被災場所	県北部					
被害の規模	(人的被害)死者5人、重傷者1人、軽傷者5人 (住家被害)全壊24棟、半壊12棟、一部損壊32棟、床上浸水282棟、床下浸水783棟 (その他被害)道路422ヶ所、河川553ヶ所、山地崩壊212ヶ所 など <被害額総計>約81億円					
被害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 7月20日から22日にかけての先行降雨により地盤がゆるんでいたこと、7月22日夜遅くから23日早朝にかけて豪雨になったことから、山崩れ、がけ崩れ、道路、河川の損壊が相次いだ。 山口県北部、島根県西部、広島県北部で局地的豪雨に見舞われたことから、気象庁では7月20日から23日にかけての豪雨を「昭和58年7月豪雨」と命名した。 					



しょうわ 7月 20日 豪雨 では、大雨による土砂災害で被害が発生したんだ。
 土砂災害の多くは大雨によって起こり、1時間に30ミリ以上または降り始めから
 100ミリ以上の降水量になったら注意が必要だよ。